

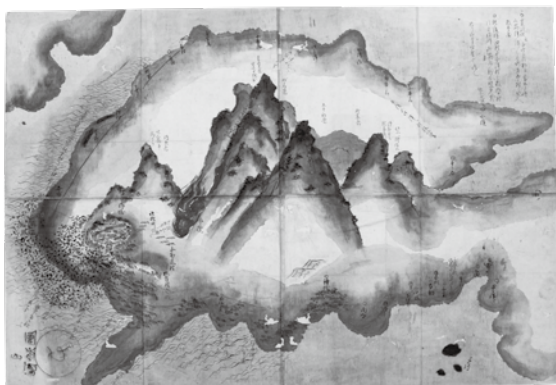


# 小城市立歴史資料館 \* 中林梧竹記念館だより

## 佐賀大学交流事業特別展「江戸時代の災害と小城」を開催します

今回の展示では、佐賀大学附属図書館所蔵の『小城藩日記』から江戸時代の小城における災害と人々との関わりについて、現代とのつながりを考えつつ、さまざまな史料を用いて紹介します。

- ◆期間 11月3日(金・祝)～12月17日(日)
- ◆場所 歴史資料館 企画展示室
- ◆入場料 無料



▲寛政年中温泉山崩之図

佐賀大学交流事業に関連して講演会を開催します。

### 「小城藩日記にみる風水害」

- ◆日時 11月4日(土) 14時～15時30分
- ◆場所 歴史資料館 研修室
- ◆講師 伊藤昭弘さん  
いとうあきひろ  
(佐賀大学地域学歴史文化研究センター長)

### 「子年の大風とシーボルト事件」

- ◆日時 11月25日(土) 14時～15時30分
- ◆場所 歴史資料館 研修室
- ◆講師 三ツ松誠さん  
みつまつまこと  
(佐賀大学地域学歴史文化研究センター准教授)

### 【共通事項】

- ◆入場料 無料 ◆定員 各回30人
- ※要電話予約

## おぎの歴史探検隊

### 電気工学者・中野初子は小城の男なり〈その1〉

電気は現代文明を支える血液のようなもの。明治期の日本では何人もの佐賀県出身者が、電気の実用化に貢献しています。その一人、電気工学者の中野初子は安政6(1859)年、小城の下岡小路(現小城公園の東側)に生まれました。父は小城鍋島藩に仕えた、茶人で歌人の村崎宗肅(ト斎、村崎家の本姓は中野)。正月の初めの子(ね)の日に生まれた次男は、初子(はつね)という名前を貰いました。

明治6(1873)年、初子は工部省電信寮に勤める兄・中野宗宏を頼って上京、石丸安世が開設した私塾・経綸舎で学びます。石丸は旧佐賀藩士で「日本電信の祖」とも呼ばれる人物。翌年、工部省工学寮小学校に入学した初子は、さらに工部大学校に進学します。同校の2期先輩には、のちに電気学会を創

立する多久出身の志田林三郎がいました。

明治11(1878)年、工部大学校で開かれた電信中央局開局祝賀会で、英国人教授エアトン(W.E. Ayrton)はグローブ電池50個をつなげ、初子ら3人の学生を助手として日本初の電灯(アーク灯)を点灯させました。光はすぐに消えたものの、この3月25日はのちに「電気記念日」に制定されました。(続) 小城郷土史研究会/著



◀現在の下岡小路

❖開館時間 9時～17時 ❖休館日 毎週月曜日・祝日(文化の日を除く)

【問合せ・申込み】歴史資料館 文化課(桜城館2階) 担当 下川・永田 ☎71・1132

小城市ホームページから